

エジプト在留邦人・旅行者の皆様へ

平成23年5月12日
在エジプト日本国大使館領事部

デモ・集会等に関する注意（平成23年5月12日付）

- 1 一部政治運動団体は、明日13日金曜日に、カイロ中心部のタハリール広場等において、大規模なデモ・集会を行う旨を呼びかけています。

エジプトでは、先週7日夜、カイロ西方のインババ地区において、宗教施設への放火を含むイスラム教徒とコプト教徒間の大規模な衝突事案が発生し、翌8日には、タハリール広場に近接した考古学博物館北方の路上にて、デモ隊の一部とデモに抗議するイスラム教徒との間で投石を伴う衝突も生じました。国営テレビ局前では、コプト教徒による抗議活動が連日に渡り行われており、明日13日にも大規模なデモを行うとしています。

この他、報道によれば、パレスチナを支援するグループが、イスラエルの独立記念日である14日前後に、ギザのイスラエル大使館前、カイロ・マーディー地区のイスラエル大使公邸前、アレキサンドリア、スエズ等において抗議活動を予定しているとのことです。

エジプト政府は、事態の収拾に努めていますが、デモや集会に関連した衝突や混乱は、今後も時間や場所を問わず突発的に発生する可能性があります。

- 2 つきましては、デモや集会が行われる可能性があるカイロ中心部のタハリール広場、国営テレビ局、国内各地の政府関連機関、宗教施設、外国公館付近やその他大勢の人が集まる公共の場所では、周囲の状況に注意する等、自らの安全確保に努めてください。

また、不測の事態に巻き込まれることを避けるため、現地報道等にも注意を払い、最新の関連情報の入手に努めてください。万一、デモや集会に遭遇した場合は、決して近づくことなく、すぐに現場から離れてください。

- 3 夜間外出禁止令は、大カイロ圏（カイロ県、ギザ県、カルユービーヤ県）、アレキサンドリア県、スエズ県に、深夜午前2時から早朝午前5時までの間で継続して発令されています。

また、多くの警察官が街頭に復帰してきていますが、刑務所や警察署留置場からの脱走者の存在、白昼の犯罪発生等、警察の治安維持力の低下を含め、治安情勢は未だ十分に回復しているとは言えない状況にあります。

したがって、外出禁止時間帯の外出は厳に控えるとともに、その他時間帯の外出時も単独行動は避け、夜間は車の移動の際も十分注意してください。また、自宅や勤務先等では戸締まりを厳重にするなど防犯に努めてください。